

# もりおかいきもの調査

募集期間 令和6年9月9日(月) ▶ 令和6年11月30日(土)

※上記期間外に見つきたいいきものについても募集対象となります。

秋ver

## 「もりおかいきもの調査」ってなに？

もりおかいきもの調査とは、市民のみなさまが調査員となり、市内に生息するいきものの報告をしていただく調査です。みなさまからいただいた報告は市内の環境保全活動のための資料となります。

身近な自然にふれあいながら、いきもの探しをしてみませんか？

## 対象のいきもの



オオハンゴンソウ



アレチウリ



アメリカオニアザミ



オオキンケイギク



アワダチソウの仲間



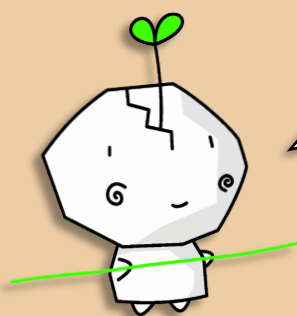
ブタクサの仲間



アメリカザリガニ



アカミミガメ



けいさい

ここに掲載されているいきもの以外でも、  
見つきたいいきもの名前を調べたい方のお手伝いをしています(いきもの名前調べサポート)  
くわしくは裏面の下部にて！



カマキリ類

## 投稿方法

1



いきものを見つける

2



いきものの写真を撮る  
(写真がなくても投稿OK)

3

投稿フォームはコチラ！



見つけた場所や日にち、  
写真などをWebで投稿

【問い合わせ先】

盛岡市環境部環境企画課 (019-613-8419)

もりおかいきもの調査

検索



URL : [https://www.eco-morioka.jp/ikimono\\_chousa\\_aki/](https://www.eco-morioka.jp/ikimono_chousa_aki/)



## 対象となるいきものの特徴



種名：オオハンゴンソウ  
北アメリカ原産のキク科の多年草。明治中期に観賞用に移入された。花はキクイモに似ており、7～10月に開花。草丈は0.5～3m程度になる。地下茎や埋土種子で増える。土壌の多湿に強く、特に水辺等で大群落が見られる。寒さにも強い。

〔特定外来生物〕〔生態系被害防止外来種〕



種名：アレチウリ  
北アメリカ原産の、ウリ科の一年性つる植物。1950年代にアメリカやカナダからの輸入大豆に種子が混入し、豆腐屋を中心に拡大したとされる。8～10月に黄白色の花が開花し、スズメバチなどがよく訪花する。実は軟毛と細いトゲが密生する。日当たりの良い河川敷などで増えている。繁殖力が強く、生育速度も非常に早い。他の植物を覆いつくし、生育を困難にしてしまう。

〔特定外来生物〕〔生態系被害防止外来種〕



種名：アメリカオニアザミ  
ヨーロッパ原産のキク科の1～2年草。北アメリカからの輸入穀物や牧草への混入により、1960年代に非意図的に導入された。7～9月頃に鮮やかな紅紫色の花が開花する。草丈は1m以上になり、全体に鋭く硬いトゲが多数ある。種子は綿毛があり、風に乗って拡散する。

〔生態系被害防止外来種〕



種名：オオキンケイギク  
北アメリカ原産のキク科の多年草。1880年代に観賞用、緑化用に導入された。草丈は0.3～0.7m程度。花は橙黄色でキバナコスモスに似ているが、花弁の端がギザギザしている。また、本種は5～7月に開花するが、キバナコスモスは夏～秋に開花する。葉の形状もコスモスとは異なり、細長いへら状（コスモスの葉は細かく分かれる）。河川敷などでよく見かける。

〔特定外来生物〕・〔生態系被害防止外来種〕



種名：セイタカアワダチソウ  
北アメリカ原産のキク科の多年草。セイタカアワダチソウは1900年頃に観賞用、蜜源植物として導入され、戦後に分布が拡大した。花も含めて見た目は2種ともほとんど変わらないが、花期が異なる。オオアワダチソウは夏に開花、セイタカアワダチソウは秋に開花する。

〔生態系被害防止外来種〕



種名：ブタクサ  
北アメリカ原産のキク科の一年草。2種とも秋に開花し、秋の花粉症の原因植物として有名。ブタクサは明治初期に非意図的に導入されたが、広く定着したのは昭和初期。草丈は0.3～1.5m程度。葉は細かい切れ込みがある。

オオブタクサは1950年代に飼料穀物や豆類に混入して非意図的に導入。草丈は3mにも達する。葉は掌状に3～5裂し、クワの葉にやや似ていることからクワモドキの別称がある。〔要注意外来生物〕



種名：アメリカザリガニ  
体長は最大15cmくらい。小さい頃は黄褐色だが、大きくなると赤みが強くなる。流れの緩やかな水中に生息。高水温や水質汚濁に耐性がある。

雑食性で、落ち葉や水草等の植物、水生昆虫、オタマジャクシ、魚類等の動物を捕食する。

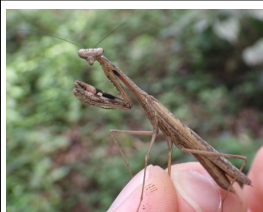
〔条件付特定外来生物〕〔生態系被害防止外来種〕



種名：アカミミガメ  
甲羅は最大28cmくらい。メスの方が大きくなる。顔の横側にある赤いラインが特徴。オスは成長すると赤ラインが消え、甲羅が黒っぽくなるものもある。

子ガメの甲羅は緑色で丸く、昔はミドリガメという名で売られていた。日光浴が好き。雑食性で、藻類や水草等の植物、水生昆虫、甲殻類、魚類等の動物を捕食する。

〔条件付特定外来生物〕〔生態系被害防止外来種〕



種名：カマキリ類  
秋を代表する昆虫類として、岩手県では主にオオカマキリ、コカマキリの2種が生息するほか、希な種としてウスバカマキリ（いわてレッドリスト2024では「情報不足」種）も生息する。全種ともメスの方が大型で、夏から秋にかけて成虫が出現する。前肢の裏側の模様や色で3種を識別できる他、卵のうの形で識別できる。林縁や草地などに生息し、他の昆虫や小動物を捕食する。関東甲信越から西ではムネアカハラビロカマキリという外来種が分布を拡大し、在来種への影響が懸念されているが、岩手県では現時点で確認されていない。今後注意を要する。

## いきもの名前調べサポート



見つけたいきもの名前を調べたい方をお手伝いいたします。メールに見つけた場所や大きさ、写真などを記載・添付してお問い合わせ願います。

◎お問い合わせはコチラから！

✉ [kankyoku@city.morioka.iwate.jp](mailto:kankyoku@city.morioka.iwate.jp)

（盛岡市環境部環境企画課メールアドレス）

※メール件名を「いきもの名前調べ」としてください。

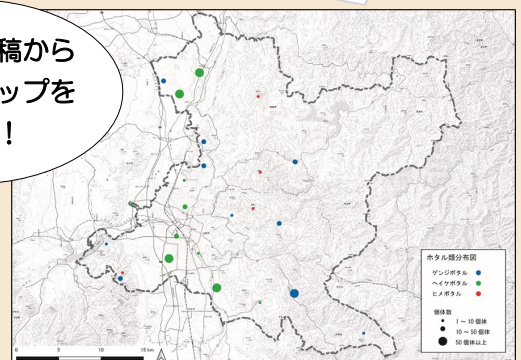
※お問い合わせの内容によっては、名前が特定できない場合や回答までに時間を要する場合があります。

※受付はメールアドレスからのみとなっております。（投稿フォーム・電話からは受付できません）

## 調査結果



集まった投稿から  
いきものマップを  
作成するよ！



いきものマップのイメージ

※結果は、盛岡市環境部Webサイト「ecoもりおか」で公開予定（令和7年1月頃）です。